

各位

会社名	株式会社ソディックプラスチック
代表者名	代表取締役社長 鈴木正昭 (JASDAQ・コード6401)
問合せ先	
役職・氏名	常務取締役 河本朋英
電話	045-478-1880

食品機械関連事業の開始に関するお知らせ

当社は、平成21年9月4日開催の取締役会において、下記のとおり新たな事業を開始することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、設立当初から精密射出成形機関連事業に焦点を当て、特にコネクタ、液晶、携帯電話等に用いられるプラスチック樹脂製品の製造に必要な精密射出成形機を国内外の電機、電子部品メーカーに対して着実に販売してまいりました。

その結果、特に200t以下の小型精密射出成形機マーケットでは、国内メーカーにおいてシェアは10%程度を占め、業界内でも確固たる地位を築くまでになりました。

加えて、特機（検査装置向けの精密ステージ等）関連事業でも実績を積み重ね、現在は射出成形機関連事業と特機関連事業とが当社の事業の二本柱となっております。

しかしながら、これらの二事業の業績は、いずれも景気、特に自動車業界や電機業界の設備投資動向に大きく左右される状況にあり、2001年度はIT不況の直撃を受け、また2008年度はサブプライムローンに端を発する世界的な経済不況下において設備投資需要の減退から大きく受注、売上が減少し、損益においても大幅な赤字を計上いたしました。

こうした現状を踏まえ、当社といたしましては、今後も企業価値を高め、株主の皆様の期待に応えていくためには、現在の二事業に加えて安定的成長が見込まれる第三の事業を構築することが急務であるとの結論に達し、平成21年9月4日の取締役会にて、株式会社ソディック新横から同社が営む食品機械関連事業を、同日に譲渡契約を結び譲受けることにより、同事業を新たに開始することといたしました。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

食品機械関連事業（プラント型製麺機械の製造等に関わる事業）

(2) 当該事業を担当する部門

食品機事業部（現時点においては仮称ですが、今後設立する予定であります。）

3. 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

株式会社ソディック新横に対して支払う当該事業の譲受代金：約18億円

具体的には製麺機製造等に関わる棚卸資産等の流動資産約10億円、機械装置等の有形固定資産約4億

円、営業権等の無形固定資産約 8 億円の資産合計約 22 億円から負債総額約 4 億円を差引いた金額であります。

4. 日 程

取締役会決議	平成21年9月4日
臨時株主総会 (定款の一部変更)	平成21年9月25日
事業開始期日	平成21年10月1日(予定)

5. 今後の見通し

当社の当期業績に及ぼす影響については、なお精査中ではありますが、平成22年3月期連結業績予想の修正が必要な場合は速やかに公表いたします。

来期以降は今回譲り受ける事業を軌道に乗せると共に当社が有する既存施設の活用及び機械製造技術の応用等により売上高の伸張、利益の拡大が図られるものと考えております。

以上